

## ご挨拶 2021年度より新体制でのご挨拶

平素より本研究所の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

サポート研究員及び機関誌購読会員、企業の賛助会員などの皆様のご支援により、今年で7年目を迎えます。誠に感謝でございます。

2021年度より姉崎 弘 所長は退任され、名誉会長に就任となりました。2015年の研究所設立から2020年度まで運営の第一線で活躍され、我が国のスヌーズレンの発展に貢献されたことに敬意を表します。

新年度より嶺 也守寛が会長として就任し、本研究所を牽引することになりますので、どうぞ今後ともよろしくお願い致します。また、事務局長として小嶋 尚人が就任致します。従来の体制との違いは、事務局長をリーダーとする複数人体制で事務局チームを構成して、多岐に渡る研究所業務を対応することになります。今後はスタッフの業務負荷の分散化などの業務改革を行いながら、会員様へのサービス向上を目指してきますので、どうぞご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、ご存じ通り新型コロナウイルスが世界中に蔓延してから1年が過ぎました。肉眼では見えないウイルスによって人々の生活が大きく影響してきました。スヌーズレンも同様に特別支援学校や障害者施設などでは、使用の中止や実施方法の変更など、従来のスヌーズレンの在り方を変える事態になっております。現在、「スヌーズレン専門支援士（仮称）」資格制度の整備も進めておりますが、新型コロナウイルスの状況を鑑みながら慎重に実施計画を検討しているところでございます。従来の我が国の問題点としては、スヌーズレンを正しく理解して実践しているかにあります。資格がないことは一見自由にスヌーズレンが実践できると思いがちですが、一方では、どうスヌーズレンを実践したら良いのか分からないと言った意見も多く聞かれます。資格制度は、スヌーズレンを正しく学び、スヌーズレンを正しく実践する人材育成にも繋がり、更に、資格を持つことで誇りを持ってスヌーズレン専門支援士（仮称）として活躍して頂くこと目的としております。

今後とも、皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2021年4月1日

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所・会長

東洋大学ライフデザイン学部・教授

嶺 也守寛